

世界遺產

世界には、長い歴史の中で人々が作り上げてきた建物や町なみ、そして、美しく、めずらしい自然が、たくさんあります。こうしたかけがえのない宝を、人類みんなの財産として守り、未来に伝えていこうという取り組みが、世界遺産です。

世界遺産は一九七二年に、ユネスコという国際機関の会議で決められた条約にもとづいています。世界遺産には、建物や遺跡いせきなどの「文化遺産」、山や森、海などの「自然遺産」、その両方の価値をもつ「複合遺産」があります。

日本では、奈良県の法隆寺の建物や、鹿児島県の屋久島など、二十をこえる場所が世界遺産に登録されています。

ところが、世界遺産に登録されると、多くの観光客がおとずれるようになります。それは地域にとつて喜ばしいことですが、ごみがふえたり、自然があらされたりする問題も起きています。①こうした問題を防ぎながら、どのように遺産を守っていくかが、大きな課題になっています。

世界遺産は、登録することが目的ではありません。わたしたち一人一人が、その価値を理解し、大切に守り伝えていくこそが、大切なのです。

世界遺産は、何年に決められた条約にもとづいていますか

年

2 山や森、海などの世界遺産を、何といただけますか

ア 文化遺産

イ 自然遺産

ウ 複合遺産

① 「こうした問題」とは、どんな問題ですか。

--	--

筆者が、この文章でいちばん伝えたいことは何ですか

--	--